

# 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて ～滋賀県立高等学校再編計画(原案)の概要～

## 基本計画

### 計画の策定にあたって

- 1 計画策定の背景と趣旨  
生徒のニーズや時代の要請等に応じ、これまで学科改編、特色ある学科やコースの設置、中高一貫教育校の設置、全県一区制度の導入、入学者選抜制度の改善など、様々な改革に取り組んできた  
一方、社会が一層大きく変化する中で、生徒の進路等に対する考え方や課題の多様化、規模の小さな学校の増加など、県立高等学校の教育環境は大きく変化している  
このため、教育資源を最大限活用しながら、教育予算の効果的な投資などにより、教育内容や教育環境を一段と向上させることが必要  
こうした状況を受け、「県立学校のあり方検討委員会」の報告、「第23期滋賀県産業教育審議会」の答申、「意見を聴く会」等での意見をいただいたところ  
これらを踏まえ、魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けた再編計画を策定する
- 2 基本計画の性格  
県立高等学校再編の基本的な考え方を示す
- 3 計画の期間  
基本計画の期間は、概ね10年とする

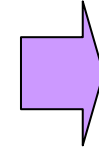
### 県立高等学校の現状と課題

- 1 社会の変化  
➡ 学校教育には普遍的な教育理念を大切にしつつ、社会の変化に合わせて対応していくことが常に求められる
- 2 生徒の進路希望や抱える課題の多様化  
(1) 生徒の多様化  
生徒の興味・関心、進路に対する考え方が多様化するとともに、様々な課題を抱える生徒が入学。また、編入学による学び直しや転入学を希望する生徒は依然として多い状況  
➡ 生徒の多様なニーズ等に応える学習内容等の充実、様々な学習歴を持つ生徒に対応した取組が必要  
(2) 生徒の志望や進路状況の変化  
大学等への進学を見据えて普通科高校への進学傾向の高まり。職業系専門学科からも上級学校へ進学する生徒が増加  
➡ 勤労観・職業観の育成とともに、職業系専門学科から上級学校へ接続するための教育内容の充実などが課題  
(3) 定時制・通信制課程の役割の変化  
中途退学者や不登校経験のある生徒など多様な生徒が入学。勤労青少年のための学校から、学び直しの学校としての役割へ変化。職業系専門学科を希望する生徒が減少  
➡ 必ずしも職業系専門学科である必要はないと考えられ、生徒のニーズに対応した見直しが必要
- 3 生徒数の推移と高等学校の規模の変化  
(1) 中学校卒業(予定)者数の推移  
県全体の中学校卒業生数は、平成2年3月をピークに平成22年3月時点で約6千人減少。今後は平成26年3月を境に減少に転じると予測  
地域別では、湖南地域(草津市・栗東市・守山市・野洲市)で増加を続ける一方、それ以外の地域は横ばいまたは減少傾向  
(2) 生徒数の増減に伴う高等学校の規模の変化  
中学校卒業生数の減少により、すでに規模の小さな学校が多くを占める地域が存在。さらに生徒数が減少していくと学校の小規模化が一層進むと予測  
➡ 小規模校では、生徒同士の切磋琢磨する機会の減少、選択科目の開設や部活動などの集団活動が制約されるなど、学校活力の低下が懸念  
一方、生徒数の増加が続く地域では、今後も規模の大きな学校が多い状況が続く見込み  
➡ 施設面・指導面での課題が生じることが考えられる
- 4 教育環境の整備  
➡ 時代に対応した豊かな教育環境を提供していくため、限られた教育資源の最大限の活用、効果的・効率的な学校運営、教育予算の効果的な投資などが必要

### 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

#### 1 魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けて

高等学校には、一般的な教養を高め、専門的な知識、技術および技能を習得させるとともに、その個性に応じて将来の進路を決定し、自ら意欲を持って学び考える力、豊かな人間性や創造性などを養い、変革の時代にあっても自ら未来を切り拓く力をはぐむことが求められている



生徒一人ひとりの自己実現に向けて、生徒自らの興味・関心や進路希望に応じた学びの提供  
幅広い出会いや集団活動を通して互いに切磋琢磨できる豊かな教育環境の整備  
本県の豊かな自然、歴史、文化、地域コミュニティなどの地域資源を活かした教育活動の推進

次の視点を基本として高等学校づくりに取り組む

魅力ある学校づくり(多様な学校選択肢等の提供)  
生徒の興味・関心や進路希望等に応じた高等学校教育を提供するため、高等学校に対する県民の期待、社会の要請などを踏まえた上で、教育内容の質的充実を図り、魅力ある高等学校教育を展開する

活力ある学校づくり(豊かな教育環境の提供)  
多様な選択科目の開設をはじめ、部活動や学校行事などの集団生活の活性化、施設や設備の効果的・効率的な利用等の観点から、県立高等学校の活力の維持向上を図る

#### 2 県立高等学校再編の基本的な考え方

魅力と活力ある高等学校づくりを実現するため、次の考え方で再編に取り組む

- 1 特色ある学校づくりの推進  
地域や産業界の要請、生徒の興味・関心や進路希望等に応じた多様な学びを提供できるよう、全ての高等学校においてそれぞれの教育目標等に応じた特色ある学校づくりの取組を実施  
・新しい学びを提供する学校の設置(総合単位制高校の設置)  
・特色ある学科やコースの設置等  
・国や県の研究指定校制度の積極的な活用
- 2 職業系専門学科の改編等  
学校の特色化の一層の推進。専門性維持向上のための集約化  
細分化されている小学科の整理・統合。学習内容を理解しやすい名称に改善  
上級学校への接続も視野に入れた教育内容の充実
- 3 学校活力の維持向上  
全日制課程の学校規模は、1学年あたり概ね6学級から8学級を標準とする  
生徒数の推移を見据えながら、標準を下回る規模の学校が増加している地域においては、地理的条件や学科の特性などを考慮しながら、学校の統合や分校化を実施  
学校の統合にあたっては、学校配置のバランスや学びの多様性等の確保に留意  
標準を上回る規模の学校については、生徒数の推移等を見据えながら、学級減を段階的に実施
- 4 定時制課程の見直し  
様々な学習動機や学習歴を持つ生徒の増加、職業系専門学科を希望して入学する生徒の減少、全日制・定時制併置の新たな総合単位制高校の設置などを踏まえ、廃止や学科の改編等を実施
- 5 中高一貫教育校の方向性  
当面は既設の3校とし、新たな設置は行わない

### 再編を進めるにあたって

再編計画の実施に際して混乱が生じないよう、計画内容と進め方を県民へ広く周知  
学校の統合にあたっては、再編対象校のこれまでの特色や成果等を新しい学校の教育活動に活かすなど、発展的な統合になるよう取り組む  
県立高等学校の募集定員は、これまで通り中学校卒業予定者数等を考慮して決定  
教育環境の整備に伴う経費について、計画的に予算措置



# 実施計画

注) 改編後の学科・コース等は仮称である

## 実施計画の性格

基本計画で示した県立高等学校再編の基本的な考え方に基づき、再編の具体的な内容を示す

なお、今後の社会状況の変化や生徒数の推移、再編の進捗状況などを見極めながら、必要に応じて次期以降の実施計画を策定する

## 再編の具体的な方策

魅力ある教育の展開と学校活力の維持向上のため、地域や学校の状況等に応じ、次の具体的な方策を講じる

新しいタイプの学校の設置(総合単位制高校の設置:湖東地域)  
学校の統合(学校統合:湖東・湖北地域、分校化:甲賀地域、全日制高校と定時制高校の統合:大津地域)  
学科改編・コース設置等(農業学科・工業学科の改編、国際文化コース・福祉健康コース・まちづくり系列の設置)  
教育内容の充実等(キャリア教育の充実、特別支援学校との交流、教職員研修等の充実)

## 具体的な再編内容

### 1 新しいタイプの学校の設置

総合単位制高校の設置(能登川高校の改編)  
彦根東高校・彦根工業高校・長浜北星高校3校の  
定時制課程の廃止

【再編の内容】能登川高校の全日制課程普通科を学年制から単位制にするとともに、新たに定時制課程(単位制)普通科を設置し、全日制・定時制併置の総合単位制高校とする  
これに併せ、彦根東高校、彦根工業高校、長浜北星高校3校の定時制課程(夜間)は廃止する

【再編が目指す姿】生徒の多様な学習ニーズに対応した柔軟な学びのシステムにより、生徒の主体的な科目選択による学習や、様々な学習歴を持つ生徒の「学びあい」を通して、互いの人間性を高め、自己実現に向けて挑んでいく意欲をはぐくむ教育の推進を図る

【設置場所】能登川高校校地  
【再編年度】平成26年度  
【想定する学校規模】1年次 全日制3学級、定時制(午後・夜間)2学級  
【学科構成】普通科(単位制による全日制課程および定時制課程)

### 2 学校の統合

彦根西高校と彦根翔陽高校の統合

【再編の内容】彦根西高校(普通科・家庭学科)と彦根翔陽高校(総合学科)を統合し、普通・商業・家庭の系列で編成された総合学科を設置する

【再編が目指す姿】彦根翔陽高校の総合学科で展開してきた普通・商業の系列と、彦根西高校で培ってきた家庭学科の教育資源を家庭の系列として融合させ、総合学科における多様な学びの充実を図る

【設置場所】彦根翔陽高校校地  
【再編年度】平成26年度  
【想定する学校規模】1学年 6学級  
【学科構成】総合学科 普通・商業・家庭の系列を設置

長浜高校と長浜北高校の統合

【再編の内容】長浜高校(普通科・福祉学科)と長浜北高校(普通科)を統合する

【再編が目指す姿】長浜高校と長浜北高校で培われた進学指導のノウハウを活かし、より充実した進学指導体制を構築するとともに、福祉学科や長浜高等養護学校との交流による特色ある学びの展開を図る

【設置場所】長浜高校校地  
【再編年度】平成26年度  
【想定する学校規模】1学年 7学級  
【学科構成】普通科、福祉学科、高等養護学校併置

甲南高校と信楽高校の統合(甲南高校信楽分校の設置)

【再編の内容】信楽高校を甲南高校の分校とする。併せて、セラミック科およびデザイン科をセラミック・デザイン科とする

また、セラミック・デザイン科において、県外から入学生を募集する仕組みを導入する

【再編が目指す姿】信楽高校を甲南高校の分校とし、学校行事や部活動等の教育活動において本校と連携することにより、学校活力の維持向上を図る。併せて、セラミックやデザインに関する教育を本校および甲南高等養護学校における学習活動に活用する

【設置場所】-  
【再編年度】平成26年度  
【想定する学校規模】本校 1学年 4学級、信楽分校 1学年 2学級  
【学科構成】本校 総合学科  
信楽分校 普通科、セラミック・デザイン科

瀬田工業高校と瀬田高校の統合

【再編の内容】同一敷地内に設置されている瀬田工業高校(全日制)と瀬田高校(定時制)を統合する。併せて、定時制課程の機械科および電気科を生徒の志望の実態に応じ、機械・電気科とする

【再編が目指す姿】瀬田工業高校と瀬田高校を統合し、全日制・定時制を併置した工業学科として、両校が持つノウハウの蓄積や施設・設備を有効に活用し、専門学科としての教育内容の充実を図る

【設置場所】-  
【再編年度】平成26年度  
【想定する学校規模】1学年 全日制課程 7学級、定時制課程(夜間)1学級  
【学科構成】全日制課程 機械科、電気科、化学工業科  
定時制課程 機械・電気科

### 3 学科改編・コース設置等

農業学科の小学科改編

【再編の内容】農業学科の小学科の改編を行う

【再編が目指す姿】農業学科の小学科の改編を行い、地域の特色を生かしつつ、消費者や需要者のニーズにあった農業の展開や経営の多角化(6次産業化)などの学習を通して、将来の本県農業の担い手としての資質と能力を育成する

【対象高校】長浜農業高校、湖南農業高校、八日市南高校

【再編年度】平成26年度  
【想定する学校規模】長浜農業高校 1学年 3学級  
湖南農業高校 1学年 3学級  
八日市南高校 1学年 3学級

【学科構成】長浜農業高校 農業科、食品科、園芸科  
湖南農業高校 農業科、食品科、花緑科  
八日市南高校 農業科、食品科、花緑デザイン科

工業学科の小学科改編および小学科集約

【再編の内容】工業学科の小学科改編および学校間での小学科の集約を行う

【再編が目指す姿】細分化された電気系と情報系の小学科を統合するとともに、化学系小学科と建設系小学科を設置する学校の見直しにより、専門学科としての教育内容の充実を図る

【対象高校】瀬田工業高校、彦根工業高校、八幡工業高校

【再編年度】平成26年度  
【想定する学校規模】瀬田工業高校 1学年 7学級  
彦根工業高校 1学年 6学級  
八幡工業高校 1学年 6学級

【学科構成】瀬田工業高校 機械科、電気科、化学工業科  
彦根工業高校 機械科、電気科、建設科  
八幡工業高校 機械科、電気科、環境化学科

北大津高校、水口高校に国際文化コースを設置

【再編の内容】北大津高校および水口高校に国際文化コースを設置する。これに伴い国際学科は廃止する

【再編が目指す姿】国際理解、語学力の向上の教育内容に加え、自国や地域の文化等を国際的に情報発信する取組などを通して、国際感覚と幅広い視野を養い、地域社会に貢献する資質と能力を育成する

【対象高校】北大津高校、水口高校(両校とも1学年 6学級を想定)

【再編年度】平成25年度  
【学科構成】普通科 国際文化コースを設置

石部高校に福祉健康コースを設置

【再編の内容】石部高校に福祉健康コースを設置する。これに伴い総合選択制は廃止する

【再編が目指す姿】普通科に、福祉を中心として広く健康などについても学べる福祉健康コースを設置し、福祉関連施設での実習など、地域の資源や人材を活かした教育内容の特色化と学校活力の向上を図る。併せて、併置される三雲養護学校高等部分教室との交流を活かした教育内容の充実を図る

【対象高校】石部高校(1学年 3学級を想定)

【再編年度】平成25年度  
【学科構成】普通科 福祉健康コースを設置

長浜北星高校総合学科にまちづくり系列を設置

【再編の内容】長浜北星高校総合学科にまちづくり系列を設置する

【再編が目指す姿】総合学科にまちづくり系列を設置し、地元企業や団体等と連携した地域づくりやまちづくり活動を体験的に学習し、将来の地域社会の発展に貢献する資質と能力を育成する

【対象高校】長浜北星高校(1学年 6学級を想定)

【再編年度】平成26年度  
【学科構成】総合学科 まちづくり系列を設置

### 4 教育内容の充実等

石部高校、伊吹高校および愛知高校と特別支援学校との交流の推進

石部高校、伊吹高校および愛知高校に併置される特別支援学校との交流を通して、ノーマライゼーションの理念に基づく教育を推進する

[平成25年度]  
石部高校(1学年 3学級)と三雲養護学校高等部分教室(1学年 3学級)  
伊吹高校(1学年 4学級)と長浜養護学校高等部分教室(1学年 2学級)  
愛知高校(1学年 4学級)と高等養護学校(1学年 2学級)